

安来市立図書館長寿命化計画 (個別施設計画)



令和 6 年12月
安来市教育委員会

目 次

第1章 計画策定の概要	2
(1) 背景及び目的	
(2) 計画の位置付け	
(3) 各種計画との関連性	
(4) 計画期間	
第2章 施設概要	3
(1) 施設概要	
(2) 施設配置状況	
第3章 安来市立図書館の実態等	4
(1) 運営状況・活用状況	
(2) 安来市立図書館3館の役割	
(3) 入館者数の推移	
(4) 施設維持管理経費の推移	
(5) 主な修繕、改修の履歴	
(6) 施設の状態	
① 状態調査の概要	
② 状態の評価	
第4章 施設管理の基本方針	14
(1) 管理等の基本方針	
① 個別計画の基本方針	
② 規模・配置計画等の方針	
(2) 改修等の基本方針	
① 長寿命化の方針	
② 目標使用年数、改修周期の設定	
第5章 実施計画	15
(1) 計画期間中の優先順位付け	
(2) 実施計画	
第6章 長寿命化計画の継続的運用方針	18
(1) 推進体制等の整備	
(2) フォローアップ	

※ 本計画の対象である安来市立図書館とは「やすぎ図書館」を指します。

第1章 計画策定の概要

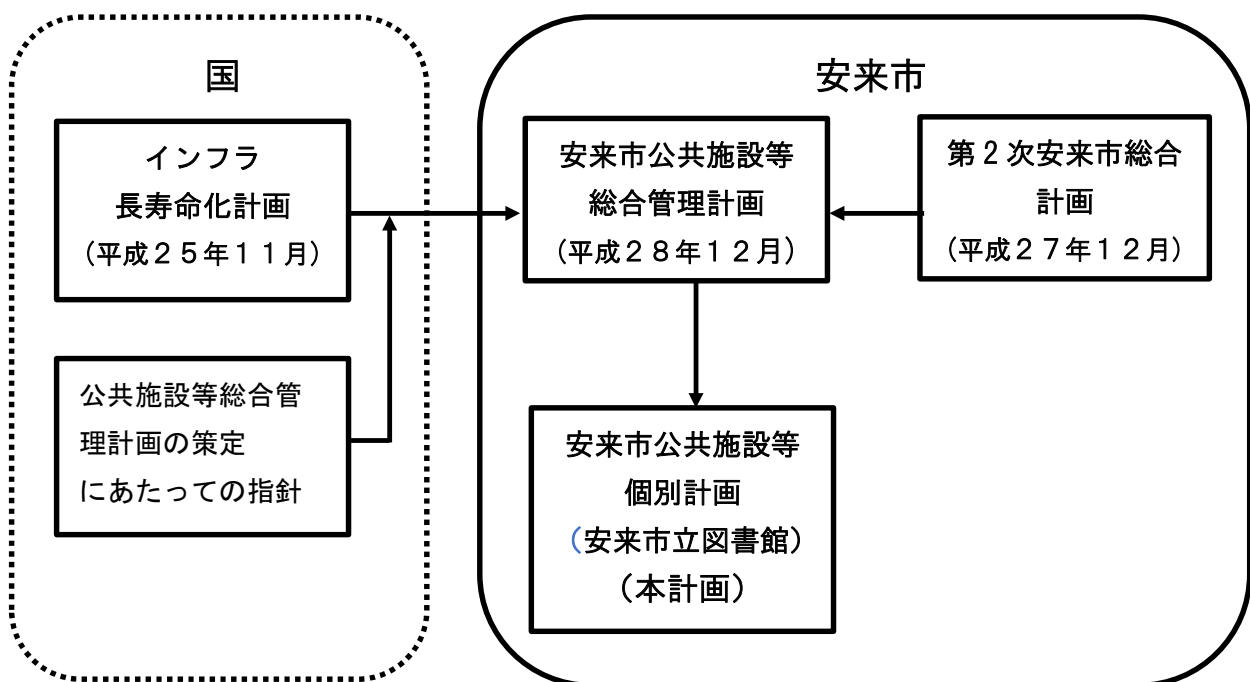
(1) 背景及び目的

本市では、これまで多様化する市民ニーズに対応するため、多くの公共施設等を整備し管理・運営を行うことで、様々な行政サービスを提供しています。平成25(2013)年に国が策定した「インフラ長寿命化計画」を基にすべての公共施設を対象とした公共施設総合管理計画を策定するよう要請があったことを受け、市では「安来市公共施設等総合管理計画」(以下「総合管理計画」という。)を策定し、効率的かつ効果的な公共施設等の配置の実現を目指しています。

本計画は、本市の文化の拠点である安来市立図書館の機能の維持・向上を目指し、施設を取り巻く状況を把握、分析するとともに、市民のニーズを捉え、計画的かつ効率的な維持管理や施設の利活用を検討するため、総合管理計画に基づき、個別施設の具体的な対応方針となる計画を策定するものです。

(2) 計画の位置付け

本計画は総合管理計画と整合性を持つ下位計画であり、総合管理計画に基づき、安来市立図書館の具体的な施設計画を定めます。



(3) 各種計画との関連性

■安来市公共施設等総合管理計画

「安来市公共施設等総合管理計画」では、本市の人口・財政・公共施設等の現状や更新費用の見通し等を分析の上「公共施設等のあり方に関して基本方針」を明らかにしており、これを踏まえて「施設類型ごとの管理に関する基本的な方針」を示しています。人口減少や社会情勢の変化等各施設を取り巻く環境を勘案しながら柔軟に対応していくこととしています。

「総合管理計画」における基本方針

公共施設等のあり方に関する基本方針	1 施設総量の適正化 2 予防保全・長寿命化 3 効率的・効果的な管理運営
施設類型ごとの管理に関する基本的な方針(抜粋)	大分類:社会教育系施設 中分類:図書館等 分類内容:図書、記録その他必要な資料を収集して整理保存するとともに、市民の教養、文化の高揚に寄与する施設 基本方針: ○3館の図書管理については共通のシステムを採用し、情報の一元化と図書の融通を図っていることから、より効率的でかつ経済的な運営が図られるよう、LCCの縮減を推進する。

■第2次安来市総合計画

第2次安来市総合計画では、市立図書館は、生きがいを感じる学習の場の提供をするため、情報拠点として図書館機能を充実していく方針としています。各世代や各分野での学習ニーズの把握に努め、多様な学習機会の拡充・提供を図ります。

第2次安来市総合計画の文化・芸術活動の推進施策体系(一部抜粋)

第2章 子育て・教育・ 文化分野	第3節 生涯学習の 推進	方向4 生きがいを感じる学習の場を提供する ・情報拠点としての図書館機能を充実します。
------------------------	--------------------	--

(4) 計画期間

計画期間は、令和6(2024)年度～令和35(2053)年度の30年間とします。また、将来の財政状況や社会情勢等に対応するため、計画策定後おおむね10年ごとに計画を見直します。

第2章 施設概要

(1) 施設概要

施設	安来市立図書館(やすぎ図書館)
所管	文化課
竣工	平成16(2004)年3月
所在地	島根県安来市安来町1062番地1
構造・階数	鉄筋コンクリート、鉄骨構造2階建て
延床面積	1,161㎡
管理運営形態	直営

(2) 施設配置状況

安来市立図書館の配置にあたっては、設置目的である本市の文化振興を図るため、より多くの市民にとって利便性が高い場所に立地している必要があります。安来市立図書館(現やすぎ図書館)は平成15(2003)年度に安来港に隣接する現在地に移転しました。隣接する和鋼博物館とともに、多くの人々が利用する地区となっています。

第3章 安来市立図書館の実態等

(1) 運営状況・活用状況

市立図書館は、市民生活の向上に貢献するため、市民に寄り添い、役に立つ図書館を目指し、知的活動の基礎となる“読書”や、様々な調査・研究や日常生活を営むための情報取得活動を支援するために、図書館資料の収集や整備をしています。

また、市民の生涯学習を活性化するため、様々な講座やイベントを行っています。

(2) 安来市立図書館3館の役割

現在、安来市内には、「やすぎ図書館」、「はくた図書室」、「ひろせ図書室」の3つの図書館・図書室があります。やすぎ図書館は、市内最大の蔵書数を誇る生涯学習の中核施設としての役割を担っています。はくた図書室は、はくた文化学習館の施設内に立地し、学校における読書支援の中核施設としての役割を担っています。ひろせ図書室は、広瀬中央交流センターの一室に設けられており、規模の小さい図書室ですが、地域住民の情報収集の場として活用されています。

3館は定期巡回や、インターネットによる蔵書情報の公開等を通じた3館の連携による図書館ネットワークにより、市民の皆様に3館一体となったサービスを行っています。

(3) 入館者数の推移

本市の総人口は、直近のピークとなる昭和60(1985)年の49,616人から減少傾向にあり、令和2(2020)年には37,896人と、昭和60年(35年前)対比で24%超の減少になっています。

今後も減少傾向は続き、国立社会保障・人口問題研究所の推計方法を基に算出すると、将来設計では令和42(2060)年には21,000人まで減少すると見込まれています。

市立図書館の年間利用者は、令和元(2019)年度の終わり頃から新型コロナウイルス感染症拡大の影響により減少傾向にあります。令和5(2023)年度から新型コロナウイルス感染症の5類移行により入館者数は増加しましたが、今後は市の人口減少等に伴い、利用者数が減少していくことが予想されるため、特色のある施設運営を行うことで、市内のみならず、市外からの施設利用促進を行う必要があります。

入館者数(単位:人) ※ 3館の合計値

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
156,118	97,628	114,701	110,656	112,438

利用者の推移(単位:人) ※ 3館の合計値

令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
54,030	42,076	48,235	46,331	47,108

(4) 施設維持管理経費の推移

令和2(2020)年度から令和5(2023)年度までの安来市立図書館施設維持管理費を平均すると、年間で約13,869千円です。

安来市立図書館施設維持管理費(単位:千円)

費目	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
光熱水費	8,555 (858)	8,690 (1,277)	12,883 (1,552)	9,492 (1,668)
施設整備費	2,618	5,775	0	0
維持管理費	490	1255	185	178
合計	12,521	16,997	14,620	11,338

- ・ 光熱水費 複合施設の和鋼博物館と合算した金額。()内は図書館のみのガス代。
- ・ 施設整備費 屋根や外壁、設備等の改修・設備の更新費用等
- ・ 維持管理費 簡易な修繕等

(5) 主な修繕、改修の履歴

年度	修繕内容	金額(円)
平成 24 年	外壁修繕工事	1,250,000
令和 2 年	空調設備改修工事	2,618,000
令和 3 年	空調設備改修工事(感染対策事業)	5,775,000

(6) 施設の状態

① 状態調査の概要

- ・ 調査対象 設備(機械、電気)及び建築
※2階こども図書館部分はここに挙げず、維持管理上、隣接する和鋼博物館の設備及び建築としています。
- ・ 調査方法 点検記録等の既往データの調査及び現地における目視調査
設備の調査は、令和5年度に委託事業により実施
- ・ 状態の評価基準 下表の基準に従って、経年劣化度及び状態劣化度を評価
※ 調査基準日:令和5年12月1日

経年劣化度

評価	評価基準
a	計画更新年数まで 11 年以上ある
b	計画更新年数まであと 6～10 年である
c	計画更新年数まであと 3～5 年である
d	計画更新年数まであと 1～2 年である
e	計画更新年数を既に超過している

状態劣化度

評価	評価基準
A	(劣化状況) 劣化現象は特に見られない (保守点検状況) 特に異常なし
B	(劣化状況) 劣化が進んでおり、5 年以内には修繕・改修が必要 (保守点検状況) 軽微な改善箇所の指摘がある
C	(劣化状況) 現状は極めて深刻で危険な状態であり、早急に修繕・改修が必要 (保守点検状況) 毎年指摘事項がある

② 状態の評価

機械設備、電気設備、建築の状態調査結果は下表のとおりです。

・ 機械設備(予防保全)

機械設備 (予防保全)							調査結果		
設置場所	設置年 (改修年)	数量	単位	計画更 新年数	経過 年数	経年 劣化度	状態 劣化度	コメント	
空調設備									
ガスヒートポンプマルチエアコン	屋外 室外機置場	2004	1	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	雑誌スペース	2004	3	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	読書スペース 交流スペース	2004	2	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	読書スペース 交流スペース	2004	1	台	20年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	くつろぎスペース	2004	1	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	読書スペース	2004	1	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
ガスヒートポンプマルチエアコン	屋外 室外機置場	2004	1	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	エントランスホール 一般開架(1)	2004	4	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
ガスヒートポンプマルチエアコン		2004	1	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	一般開架(1)	2004	3	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	一般開架(2)	2004	1	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	一般開架(1)	2004	2	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
ガスヒートポンプマルチエアコン		2004	1	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	ワークルーム	2004	1	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	開架書庫	2004	2	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	ワークルーム	2004	2	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	ワークルーム	2004	1	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
ガスヒートポンプマルチエアコン		2004	1	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	一般開架(2)	2004	2	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	会議室	2004	2	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
	一般開架(2)	2004	1	台	20年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
集中コントローラー	ワークルーム	2004	1	台	15年	19年	e	B	機能上問題ないが、経年劣化が進んでおり、計画更新年数も超えているため更新を検討する。
冷媒管	各所	2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
ドレン管	各所	2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
ガス管	各所	2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
保温工事	各所	2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
塗装工事	各所	2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
換気設備									
排気ファン		2004	1	台	20年	19年	d	A	特に異常なし
排気ファン		2004	1	台	20年	19年	d	A	特に異常なし
排気ファン		2004	1	台	20年	19年	d	A	特に異常なし

機械設備 (予防保全)							調査結果		
	設置場所	設置年 (改修年)	数量	単位	計画更 新年数	経過 年数	経年 劣化度	状態 劣化度	コメント
排気ファン		2004	1	台	20年	19年	d	A	特に異常なし
排気ファン		2004	1	台	20年	19年	d	A	特に異常なし
全熱交換ユニット		2004	1	台	20年	19年	d	A	特に異常なし
全熱交換ユニット		2004	2	台	20年	19年	d	A	特に異常なし
全熱交換ユニット		2004	1	台	20年	19年	d	A	特に異常なし
全熱交換ユニット		2004	3	台	20年	19年	d	A	特に異常なし
全熱交換ユニット		2004	2	台	20年	19年	d	A	特に異常なし
全熱交換ユニット		2004	1	台	20年	19年	d	A	特に異常なし
屋内給水設備									
給水管		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
弁類		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
保温工事		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
屋外給水設備									
給水管		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
弁類		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
散水栓		2004	2	個	30年	19年	a	A	特に異常なし
保温工事		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
床暖房設備									
ヒーティングユニット	1階各所	2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
リードケーブル	1階各所	2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
接続・敷設材料等	1階各所	2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
温度調節器・センサー類	1階各所	2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし
操作盤		2004	1	面	30年	19年	a	A	特に異常なし

・ 機械設備(事後保全)

機械設備 (事後保全)							調査結果		
	設置場所	設置年 (改修年)	数量	単位	計画更 新年数	経過 年数	経年 劣化度	状態 劣化度	コメント
空調設備									
吹出口		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。
角ダクト		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。
器具ボックス		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。
保温工事(ダクト)		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。
換気設備									
給気・排気・還気口		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。
ダンパー類		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。
フード類		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。

機械設備 (事後保全)							調査結果			
	設置場所	設置年 (改修年)	数量	単位	計画更新年数	経過 年数	経年 劣化度	状態 劣化度	コメント	
スパイラルダクト		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
器具ボックス		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
保温工事		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
衛生器具設備										
腰掛大便器	男子便所 女子便所	2004	4	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
身障者用便器	多目的便所	2004	1	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
小便器	男子便所	2004	2	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
手洗器	多目的便所	2004	1	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
洗面器	男子洗面 女子洗面	2004	4	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
洗面カウンター	男子洗面 女子洗面	2004	2	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
化粧鏡	男子洗面 女子洗面	2004	2	組	20年	19年	d	A	特に異常なし	
水せつけん入れ	男子洗面 女子洗面	2004	4	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
手すり	多目的便所	2004	1	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
手すり	多目的便所	2004	1	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
手すり	男子便所 女子便所	2004	4	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
手すり	男子便所	2004	1	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
洋風便器用背もたれ	多目的便所	2004	1	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
ベビー用シート	多目的便所	2004	1	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
ベビー用チェアー	多目的便所	2004	1	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
ベビー用チェアー	男子便所 女子便所	2004	2	組	30年	19年	a	A	特に異常なし	
掃除流し	男子便所	2004	1	組	25年	19年	b	A	特に異常なし	
給湯設備										
電気温水器	ワークルーム(ミニ キッチン用)	2004	1	台	10年	19年	e	B	機能上問題ないが、計画更新年数を超えているため更新を検討する。	
給湯管	ワークルーム(ミニ キッチン用)	2004	1	式	10年	19年	e	B	機能上問題ないが、計画更新年数を超えているため更新を検討する。	
保温工事	ワークルーム(ミニ キッチン用)	2004	1	台	10年	19年	e	B	機能上問題ないが、計画更新年数を超えているため更新を検討する。	
自動制御設備										
パッケージ制御用ケーブル		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
屋内排水設備										
排水管		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
排水管		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
通気管		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
排水金物等		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
通気口		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
保温工事		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	

機械設備 (事後保全)							調査結果			
							設置場所	設置年 (改修年)	数量	単位
屋外排水設備										
排水管		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
インバート樹		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
インバート樹		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
会所樹		2004	1	式	30年	19年	a	A	特に異常なし。	
消火設備										
消火器		2015	7	台	10年	8年	d	A	特に異常ないが、標準使用期限の10年を超えると、交換もしくは耐圧性能試験を行う必要あり	
消火器格納箱		2003	5	個	30年	20年	b	A	特に異常なし。	
消火器格納箱		2003	2	個	30年	20年	b	A	特に異常なし。	

・ 電気設備(予防保全)

電気設備 (予防保全)								調査結果		
	設置場所	設置年 (改修年)	数量	単位	備 考	計画更 新年数	経過 年数	経年 劣化度	状態 劣化度	コメント
電灯設備(非常照明,誘導灯)										
非常用照明器具	1階 通用口	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
非常用照明器具 誘導灯	1階 ワークルーム (3m×4m)	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
非常用照明器具	1階 ワークルーム	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
非常用照明器具	1階 開架書架 行政資料	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
非常用照明器具	1階 くつろぎスペース	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
誘導灯	1階 一般書架(1)	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
非常用照明器具	1階 交流スペース	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
非常用照明器具	1階 風除室	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
非常用照明器具	2階 吹抜	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
非常用照明器具 誘導灯	2階 一般開架(2)	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
非常用照明器具	2階 会議室	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
非常用照明器具	2階 渡り廊下	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
自動火災報知設備										
受信機	1階 ワークルーム	2004	1	面		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
副受信機		2004	1	面		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
副受信機	1階 ワークルーム	2004	1	面		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
発信器	各所	2004	4	個		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
表示灯	各所	2004	4	個		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
ベル	各所	2004	4	個		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
差動式スポット型感知器	各所	2004	10	個		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
定温式スポット型感知器	各所	2004	4	個		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。

電気設備 (予防保全)								調査結果		
	設置場所	設置年 (改修年)	数量	単位	備 考	計画更 新年数	経過 年数	経年 劣化度	状態 劣化度	コメント
差動式分布型感知器	各所	2004	1	個		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
差動式分布型感知器	各所	2004	1	個		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
空気管	各所	2004	300	m		65年	19年	a	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
光電式煙感知器	各所	2004	27	個		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
感知器点検ボックス	各所	2004	1	個		65年	19年	a	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
自動閉鎖設備										
光電式煙感知器	各所	2004	2	個		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
光電式煙感知器	各所	2004	1	個		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。

・ 電気設備(事後保全)

電気設備 (事後保全)								調査結果		
	設置場所	設置年 (改修年)	数量	単位	備 考	計画更 新年数	経過 年数	経年 劣化度	状態 劣化度	コメント
電灯設備										
電灯盤	1階 一般開架(1)	2004	1	面	新築時設計	30年	19年	a	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
電灯盤	1階 ワークルーム	2004	1	面	新築時設計	30年	19年	a	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
電灯盤	2階 物入	2004	1	面	新築時設計	30年	19年	a	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 倉庫	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 通用口	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 事務スペース	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 ワークルーム	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 ワークルーム	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 貴重書庫	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 開架書架 行政資料	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 くつろぎスペース	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 一般書架(1)	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 交流スペース	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 雑誌スペース	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 風除室	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 男子便所	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 女子便所	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 身障者便所	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 便所前通路	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。
照明器具	1階 駐車スペース・軒下	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共に問題ない。

電気設備 (事後保全)								調査結果		
	設置場所	設置年 (改修年)	数量	単位	備 考	計画更 新年数	経過 年数	経年 劣化度	状態 劣化度	コメント
照明器具	2階 吹抜	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	C	使用上問題ないが水銀灯は 生産停止のためLED照明へ の改修が必要。
照明器具	2階 一般開架(2)	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
照明器具	2階 会議室	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
照明器具	2階 物入	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
照明器具	2階 渡り廊下	2004	1	式	LED照明器具へ改修	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
シーリングファン	吹抜	2021	6	台	見積価格	30年	2年	a	A	2021年に更新済み。
スイッチ類 (動力)	各所	2004	1	式	新築時設計	35年	19年	a	A	
照明制御機器	各所	2004	1	式	新築時設計	25年	19年	b	B	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
コンセント	各所	2004	1	式	新築時設計	35年	19年	a	A	
フロアコンセント	各所	2004	1	式	新築時設計	35年	19年	a	A	
動力設備										
動力盤	屋外 室外機置場	2004	1	面	新築時設計	30年	19年	a	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
電話・テレビ共聴設備										
端子盤		2004	2	面	新築時設計	40年	19年	a	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
弱電総合盤	1階 ワークルーム	2004	1	面	新築時設計	40年	19年	a	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
ローションアウトレット	各所	2004	1	式	新築時設計	30年	19年	a	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
モジュレーションジャック	各所	2004	1	式	新築時設計	30年	19年	a	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
ブースター増幅器	2階 物入	2004	1	台		20年	19年	d	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
分岐器	各所	2004	1	式		20年	19年	d	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
分配器	各所	2004	1	式		20年	19年	d	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
直列ユニット	各所	2004	1	式		20年	19年	d	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
放送設備										
放送アンソ		2004	1	式	見積価格	20年	19年	d	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
スピーカー	各所	2004	17	台		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
スピーカー	各所	2004	3	台		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
スピーカー	各所	2004	1	台		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
音量調節器	各所	2004	1	台		25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
スピーカー制御ボックス		2004	1	台	新築時設計	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
インターホン・トイレ呼出設備										
トイレ呼出表示器		2004	1	台	見積価格	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
トイレ呼出ボタン		2004	2	台	見積価格	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
表示灯		2004	1	台	見積価格	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。
復旧ボタン		2004	1	台	見積価格	25年	19年	b	A	経年劣化度、状態劣化度共 に問題ない。

電気設備 (事後保全)							調査結果			
	設置場所	設置年 (改修年)	数量	単位	備 考	計画更 新年数	経過 年数	経年 劣化度	状態 劣化度	コメント
構内配電線路設備										
ハンドホール (電力)	外構	2004	1	基		－	19年	－	A	
ハンドホール (通信)	外構	2004	1	基		－	19年	－	A	
接地極	外構	2004	3	箇所	新築時設計	－	19年	－	－	
配管・配線設備										
配管類 (幹線)		2004	1	式	新築時設計	65年	19年	a	A	
配線類 (幹線)		2004	1	式	新築時設計	40年	19年	a	A	
配管類 (電灯)		2004	1	式	新築時設計	65年	19年	a	A	
配線類 (電灯)		2004	1	式	新築時設計	40年	19年	a	A	
配管類 (コンセント)		2004	1	式	新築時設計	65年	19年	a	A	
配線類 (コンセント)		2004	1	式	新築時設計	40年	19年	a	A	
配管類 (非常用照明・誘導灯)		2004	1	式	新築時設計	65年	19年	a	A	
配線類 (非常用照明・誘導灯)		2004	1	式	新築時設計	40年	19年	a	A	
配管類 (電話)		2004	1	式	新築時設計	65年	19年	a	A	
配線類 (電話)		2004	1	式	新築時設計	40年	19年	a	A	
配管類 (トイレ呼出)		2004	1	式	新築時設計	65年	19年	a	A	
配線類 (トイレ呼出)		2004	1	式	新築時設計	40年	19年	a	A	
配管類 (放送)		2004	1	式	新築時設計	65年	19年	a	A	
配線類 (放送)		2004	1	式	新築時設計	40年	19年	a	A	
配管類 (テレビ)		2004	1	式	新築時設計	65年	19年	a	A	
配線類 (テレビ)		2004	1	式	新築時設計	40年	19年	a	A	
配管類 (火災報知)		2004	1	式	新築時設計	65年	19年	a	A	
配線類 (火災報知)		2004	1	式	新築時設計	40年	19年	a	A	
配管類 (防犯)		2004	1	式	新築時設計	65年	19年	a	A	

・ 建築

建 築								調査結果		
	設置場所	竣工年 (改修年)	数量	単位	備 考	計画更 新年数	経過 年数	経年 劣化度	状態 劣化度	コメント
外部改修										
屋根改修										
ステンレス防水	本館屋上	2004	1,300	m ²		50年	19年	a	A	良好
外壁(鉄骨造部分)										
防水(シーリング)	外壁	2024	3,200	m		10年	19年	e	B	シーリングのめくれや破損が見受けられ、水漏れの可能性あり
塗装	外壁	2004	550	m ²		30年	19年	a	A	良好

第4章 施設管理の基本方針

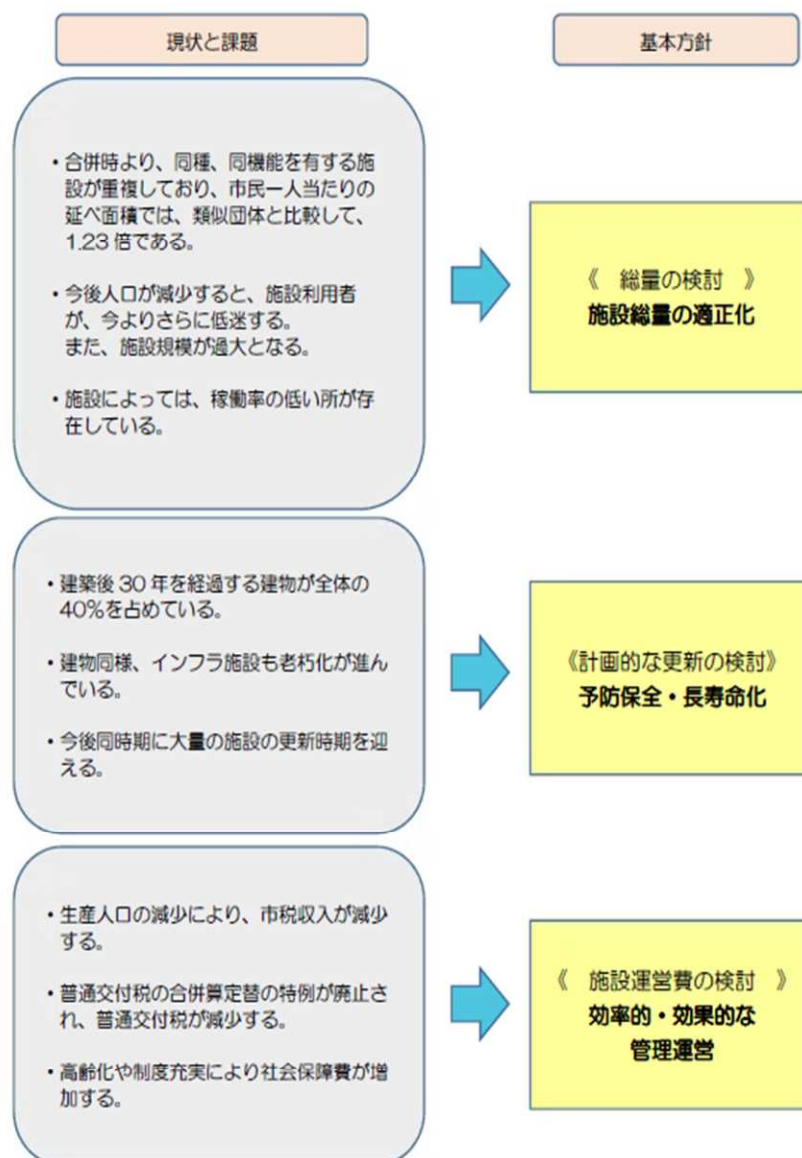
(1) 管理等の基本方針

① 個別計画の基本方針

総合管理計画に定める「安来市公共施設等のあり方に関する基本方針」を基本とし、施設管理業務の効率化や経費縮減に努め、現在の市民ニーズに応じた施設とすることを目指すとともに、定期的な点検と予防保全により施設の安全性確保と長寿命化を図ります。

また、柔軟で利便性の高い施設運営、透明性や継続性に配慮した管理運営を引き続き進めていきます。

安来市公共施設等のあり方に関する基本方針



② 規模・配置計画等の方針

利用者ニーズ、修繕・改修経費の見込み等に基づき、計画的な修繕や改修を実施していくことで、長寿命化を図ることから、基本的には既存施設を維持していくものとします。

(2) 改修等の基本方針

① 長寿命化の方針

日頃から定期的に施設点検を行うことにより、建物設備の状態を把握し、予防保全的な修繕や機能維持・改善を図る改修を計画的に行うことで、施設を長寿命化し、市民サービスを維持します。

本施設は鉄筋コンクリート造で、財務省令に定める減価償却費の算定に用いる耐用年数は 50 年となっていますが、適切な管理がなされ、コンクリート及び鉄筋の強度が確保される場合には、実際の耐用年数はこれより長く、より長期間に渡って施設を使うことが可能になります。

今後はこれを長寿命化しつつ、中長期的な維持管理等に係るトータルコストの縮減及び予算の平準化を図り、公共施設に必要な機能を確保することが求められています。

安来市立図書館は、耐用年数にはまだ期間があるため、今後も安全に資産として活かすことを念頭に、原則として長寿命化改修等により耐用年数を超えて使用することを目標とします。改修にあたっては、財政状況や各種補助制度を総合的に勘案して実施します。

② 目標使用年数、改修周期の設定

「安来市公共施設等総合管理計画」では、60 年以上使い続けることを目標としており、「減価償却資産の耐用年数等に関する省令」によると、建築関係は法定耐用年数である 41 年、建築付属設備は最長で 15 年(エレベーターは 17 年)と定められています。上記の年数を目途に改修等の長寿命化事業を計画的に実施し、上記①のとおり、耐用年数を超えて使用するように、進めていきます。

第 5 章 実施計画

(1) 計画期間中の優先順位付け

整備の実施にあたり、下記のとおり、安全性、経済性、劣化度等を考慮します。

- ・ 安全性・快適性

品質劣化により、利用者に被害を及ぼす恐れがあるもの、改修により施設の長寿命化・耐震化・機能改善が見込まれるもの。

空調や照明等、利用者の快適な施設利用に関わるもの。

- ・ 経済性

ライフサイクルコストの低減が見込まれるもの。

- ・ 劣化度

施設の状態調査で得られた、状態劣化度、経年劣化度の評価。

(2) 実施計画

- ・ 状態の把握

定期的な点検等を実施し、施設の状態を把握します。

- ・ 計画的な整備

施設の機能を維持、改善するため、予防保全、事後保全を計画的に実施し、突発的な故障を減

少させ、修繕・改修費用を抑えます。

今後 30 年間の事業スケジュール、維持更新経費、主な整備内容は下表のとおりです。

整備の実施にあたっては、事業の優先性、財政状況、社会情勢等を考慮して、その内容と時期を調整して取り組みます。

・ 事業経費

令和 6(2024)年から令和 35(2053)年までの 30 年間の施設維持更新経費を、約 5.1 億円と見込んでいます。事業を進めながら、更なる経費縮減に取り組みます。

・ コストの平準化

長寿命化を図る施設整備事業は、当市の事業計画、財政計画全体の中に位置付けられるものであることから、そのコストの平準化を図って行います。

今後30年間(令和6年度～令和35年度)の事業スケジュール、維持更新経費、主な整備内容								
○事業スケジュールと維持更新経費								単位:千円
年度	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)
機械設備	0	100	0	0	24,046	17,317	17,317	17,317
電気設備	0	0	8,129	0	0	5,452	5,452	5,452
建築	20,200	0	0	0	0	0	0	0
事後修繕	200	200	200	200	200	200	200	200
小計	20,400	300	8,329	200	24,246	22,969	22,969	22,969
年度	令和14年 (2032)	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)
機械設備	17,317	17,317	10,072	10,072	10,072	10,072	10,072	7,172
電気設備	5,452	5,452	1,391	1,391	1,391	1,391	1,391	194
建築	0	0	8,613	8,613	8,613	8,613	8,613	0
事後修繕	200	200	200	200	200	200	200	200
小計	22,969	22,969	20,276	20,276	20,276	20,276	20,276	7,566
年度	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)	令和25年 (2043)	令和26年 (2044)	令和27年 (2045)	令和28年 (2046)	令和29年 (2047)
機械設備	7,172	7,172	7,172	7,172	9,149	9,149	9,149	9,149
電気設備	194	194	194	194	1,165	1,165	1,165	1,165
建築	0	0	0	0	15,976	15,976	15,976	15,976
事後修繕	200	200	200	200	200	200	200	200
小計	7,566	7,566	7,566	7,566	26,490	26,490	26,490	26,490
年度	令和30年 (2048)	令和31年 (2049)	令和32年 (2050)	令和33年 (2051)	令和34年 (2052)	令和35年 (2053)	合計	
機械設備	9,149	11,538	11,538	11,538	11,538	11,538	300,386	
電気設備	1,165	3,588	3,588	3,588	3,588	3,588	67,079	
建築	15,976	0	0	0	0	0	143,145	
事後修繕	200	200	200	200	200	200	6,000	
小計	26,490	15,326	15,326	15,326	15,326	15,326	516,610	

- ・ 金額は千円未満を端数調整しています。
- ・ 2階こども図書館の経費は、維持管理上、ここに計上せず、隣接する和鋼博物館分としています。

○主な整備内容								
年度	令和6年 (2024)	令和7年 (2025)	令和8年 (2026)	令和9年 (2027)	令和10年 (2028)	令和11年 (2029)	令和12年 (2030)	令和13年 (2031)
機械設備		消火器			空調設備	エレベーター 空調設備	エレベーター 空調設備	エレベーター 空調設備
電気設備			照明LED化			照明LED化 自火報受信機 放送アンプ	照明LED化 自火報受信機 放送アンプ	照明LED化 自火報受信機 放送アンプ
建築	外壁防水シーリング							
年度	令和14年 (2032)	令和15年 (2033)	令和16年 (2034)	令和17年 (2035)	令和18年 (2036)	令和19年 (2037)	令和20年 (2038)	令和21年 (2039)
機械設備	エレベーター 空調設備	エレベーター 空調設備	床暖房設備 空調設備 衛生器具	床暖房設備 空調設備 衛生器具	床暖房設備 空調設備 衛生器具	床暖房設備 空調設備 衛生器具	床暖房設備 空調設備 衛生器具	空調設備(空調 機、換気ファ ン、給気口等)
電気設備	照明LED化 自火報受信機 放送アンプ	照明LED化 自火報受信機 放送アンプ	照明LED化 電灯蓄電池 電話	照明LED化 電灯蓄電池 電話	照明LED化 電灯蓄電池 電話	照明LED化 電灯蓄電池 電話	照明LED化 電灯蓄電池 電話	電灯蓄電池 自火報蓄電池
建築			外壁防水シーリング 外壁塗装	外壁防水シーリング 外壁塗装	外壁防水シーリング 外壁塗装	外壁防水シーリング 外壁塗装	外壁防水シーリング 外壁塗装	
年度	令和22年 (2040)	令和23年 (2041)	令和24年 (2042)	令和25年 (2043)	令和26年 (2044)	令和27年 (2045)	令和28年 (2046)	令和29年 (2047)
機械設備	空調設備(空調 機、換気ファ ン、給気口等)	空調設備(空調 機、換気ファ ン、給気口等)	空調設備(空調 機、換気ファ ン、給気口等)	空調設備(空調 機、換気ファ ン、給気口等)	空調設備 電気温水器等 消火器	空調設備 電気温水器等 消火器	空調設備 電気温水器等 消火器	空調設備 電気温水器等 消火器
電気設備	電灯蓄電池 自火報蓄電池	電灯蓄電池 自火報蓄電池	電灯蓄電池 自火報蓄電池	電灯蓄電池 自火報蓄電池	電話・テレビ共 聴設備端子盤 電灯蓄電池	電話・テレビ共 聴設備端子盤 電灯蓄電池	電話・テレビ共 聴設備端子盤 電灯蓄電池	電話・テレビ共 聴設備端子盤 電灯蓄電池
建築					本館屋上 外壁防水シーリング	本館屋上 外壁防水シーリング	本館屋上 外壁防水シーリング	本館屋上 外壁防水シーリング
年度	令和30年 (2048)	令和31年 (2049)	令和32年 (2050)	令和33年 (2051)	令和34年 (2052)	令和35年 (2053)		
機械設備	空調設備 電気温水器等 消火器	エレベーター 空調設備	エレベーター 空調設備	エレベーター 空調設備	エレベーター 空調設備	エレベーター 空調設備		
電気設備	電話・テレビ共 聴設備端子盤 電灯蓄電池	シーリングファ ン 電灯蓄電池	シーリングファ ン 電灯蓄電池	シーリングファ ン 電灯蓄電池	シーリングファ ン 電灯蓄電池	シーリングファ ン 電灯蓄電池		
建築	本館屋上 外壁防水シーリング							

主な整備事業

予定年度	内容	金額(千円)
令和 6 年	外壁防水改修	20,200
令和 10 年	空調設備改修	24,046
令和 11 年～	空調設備改修	36,586
	エレベータ改修	50,000
令和 16 年～	外壁防水シーリング	25,146
令和 26 年～	空調設備改修	45,122
	本館屋上改修	51,227

第 6 章 長寿命化計画の継続的運用方針

(1) 推進体制等の整備

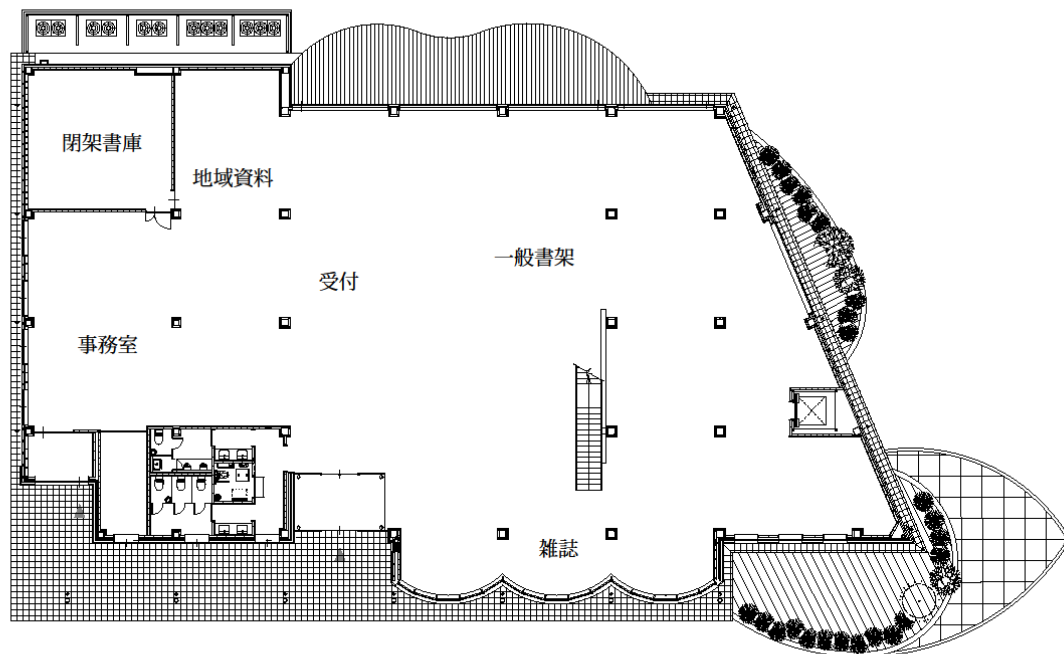
日常点検等を通じた不具合箇所の早期発見・対応、修繕等の計画的実施による予防保全に努めるとともに、長寿命化改修の検討にあたっては、「安来市公共施設等総合管理計画」に基づく全庁的な体制の中で柔軟に対応していきます。

(2) フォローアップ

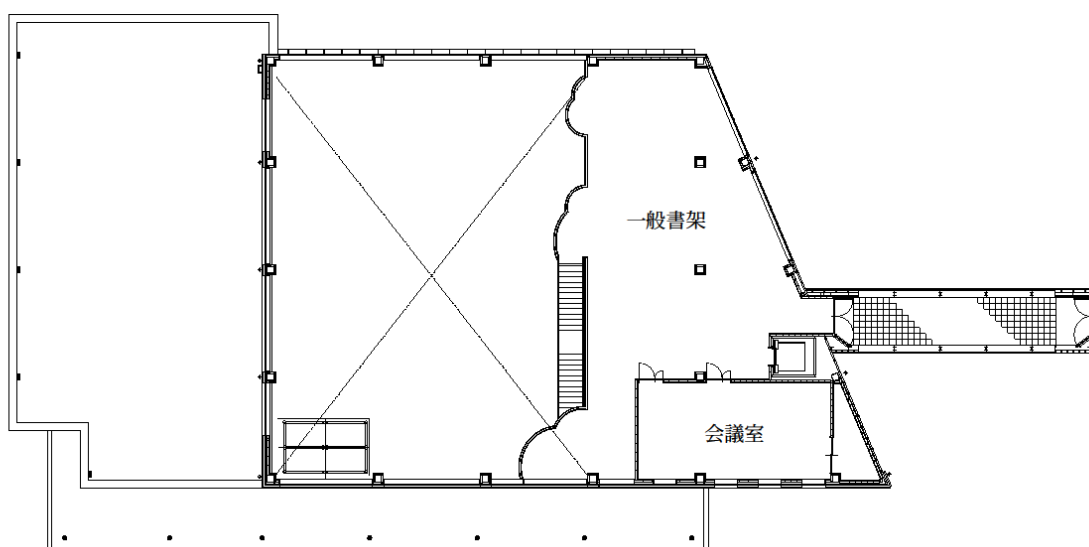
長寿命化計画の推進にあたり、定期点検等で得られた新たな情報や知見、利用者や市民、関係者等からのご意見、社会情勢等を踏まえて、計画期間内でも継続的に内容を見直し、随時反映していきます。

◆施設平面図

1 階



2 階



安来市立図書館長寿命化計画
(個別施設計画)

安来市教育委員会
令和 6 年 12 月 25 日

〒692-8686
島根県安来市安来町 878-2
安来市教育委員会文化課
電話 0854-23-3039
FAX0854-23-3168